

NPO法人
西東京市多文化共生センター
2023(令和5)年度
年間活動の記録

2023年度はコロナ感染症の位置づけが「5類」に移行したことから、社会がコロナ前の日常に戻ろうと動き出した一年でした。私たちも可能な限りの事業を対面で行い、無事成し遂げることができました。また、コロナ禍で得たりリモート活用術を活かして、会議や説明会などは参加しやすく効率的な運営を実現することができました。

この『多文化のわ』は「NPO法人 西東京市多文化共生センター（NIMIC）」の年間記録誌として再スタートして4号目となりますが、本誌を通じて私たちの活動をご理解いただき一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

も く じ

三つの柱

日付けは
2023年度

ページ

● 地域在住外国人の支援

通年	市の外国人相談窓口「西東京市多文化共生センター」運営	— — —	2
通年	外国語通訳ボランティア派遣		
9/ 9、1/16	外国から来た保護者のための「小学校入学前説明会」		
通年	市報抜粋「くらしの情報」発行		
通年	子ども日本語教室（お楽しみ会、修了式）	— — — — —	3
通年	各種資料の翻訳		

● 多文化理解の促進と交流

通年	日本語交流プログラム「Nともの会」（12/17、2/25 交流会）		
4/ 1	江戸東京たてももの園見学とお花見交流会	— — — — —	4
6/25	留学生ホームビジット		
7/ 6、7/11	武蔵野大学夏季日本文化体験プログラム		
7/29	ゆかたを着て夏まつり2023		
9/29、11/6、1/27	つながる世界プロジェクト	— — — — —	5
10/ 1	西東京市 日本語スピーチコンテスト2023		
11/11、11/12	「西東京市民まつり」に参加		
12/19	多文化サロン「ジェップさんに学ぶ魅力あふれるベトナム」		
1/27	日本のお正月を体験しよう		
3/ 2	多言語で楽しく！	— — — — —	6
3/19	多文化サロン「アナスさんが語る マルババ（ようこそ）！モロッコ」		

● ネットワークづくり・活動の活性化

5/24～7/26	日本語ボランティア入門講座		
7/22	SDGsと多文化共生講座		
9/ 2	Instagram活用術入門講座	— — — — —	7
9/ 6、9/27、11/18、12/2	日本語ボランティアフォローアップ講座		
9/29	医療関係者のための「やさしい日本語研修」		
10/29	「西東京市総合防災訓練」に参加		
12/18	適応指導者・子ども日本語指導者研修		

三つの事業形態

西東京市・大学からの受託事業

西東京市・他団体との共催事業

NIMIC独自の自主事業

を

本文タイトル行の右端に表示しています。

【地域在住外国人の支援】

■ 市の外国人相談窓口「西東京市多文化共生センター」運営

受託

通年（土日祝 年末年始を除く）月～金曜日 10時～12時 13時～16時

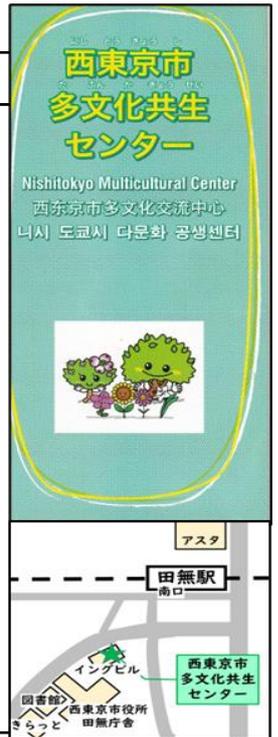
西東京市が設置している外国籍市民を対象にした各種相談窓口で、NIMICが市の委託を受けて運営しています。多言語での日常生活相談、外国籍市民支援活動先の紹介などを行っています。相談員が、やさしい日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語に加えて、タブレット使用で17言語で相談を受けています。

【場所】 〒188-0012 西東京市南町5-6-18 イングビル1階
西武新宿線 田無駅 南口 徒歩約3分 【電話・FAX】 042-461-0381

【相談実績（年間）】 ●外国籍市民の日常生活に関する相談 25カ国 222件。
子どもの教育・進学関係、日本語教室の紹介、役所や学校からの文書の翻訳依頼など。



●日本人相談 66件。
ボランティア活動先の紹介依頼、外国人のサポート依頼など。その他、国際交流イベントや多文化共生に関する情報提供や地域の多文化共生推進活動の拠点として844件利用されました。
皆さまお気軽にお立ち寄りください。



■ 外国語通訳ボランティア派遣

受託

通年 登録通訳：7か国語 35名

外国人市民が、市の行政機関・教育機関・福祉事業者等との手続き・相談・面談する時に、市からの要請を受けて派遣しています。

【派遣実績（年間）】 24件。中国語/英語/やさしい日本語。先生との面談、保育園の入所面談などで。

■ 外国から来た保護者のための「小学校入学前説明会」

共催

2023. 9/ 9（1回目）参加者：2家族 いずれもオンライン開催
2024. 1/16（2回目） 4家族

日本の小学校を知らない外国から来た保護者が、安心してお子さんの入学準備ができるように、学校の制度や様子、準備する物など写真を活用して紹介しました。



■ 市報抜粋「くらしの情報」発行

受託

毎月（年間12回）発行
スタッフ（総合調整/リライト：5名・翻訳：5名・編集：2名）12名

市報「広報西東京」の中から外国人の皆さんに必要なと思われる記事を、やさしい日本語・英語・中国語・韓国語に翻訳した印刷物を毎月500部作成して、市役所・図書館・公民館などの公共施設や市内の日本語教室で配布しています。

■ 子ども日本語教室

自主



通年（学校の休み期間は除く）

小学部は 保谷第一小（火曜）、谷戸小（水曜）、向台小（木曜）で

中学部は ひばりが丘中（木曜）で 毎週1回開催 学習時間は90分間

在籍（月平均）小学部 子ども20名 スタッフ27名

中学部 子ども13名 スタッフ15名



日本語が理解できないために授業について行けない子どもたちに日本語の指導をして、授業を理解し学校になじむことを目的とした

教室で、一人ひとりの状況に合わせた個別指導をしています。

小学部では、日本語の学習に加え季節の行事を共に楽しんでいます。

中学部では、他教科の学習も含め高校進学をサポートをしています。

- **お楽しみ会** 教室ごとに年末に開催しました。保護者も交えて身体を使ったゲームをし、皆で歌を歌い、サンタクロースからプレゼントをもらって、楽しい一日を過ごしました。

中学部には NIMIC Youth Club の学生メンバー

が加わり、年の近いお兄さん

お姉さんとおしゃべりをしたり、

高校生活についての相談

もできました。



- **修了式** 小・中学校卒業で修了となる子どもたちのために学校の先生・市の関係者・保護者が参列し、スタッフ・在籍生とともに皆で修了を祝いました。修了証、アルバム、花束と、参列の皆さまからのお祝いの言葉が贈られ、保護者からは

感謝の言葉をいただきました。修了生の旅立ちの言葉には成長した姿に感動させられ、次のステージでの活躍を確信しました。



■ 各種資料の翻訳

受託

通年 登録スタッフ：3言語 23名

【受託実績（年間）】 1件。

市から依頼された「防災に関する情報を外国人市民に共有するための資料」を翻訳しました。

【多文化理解の促進と交流】

■ 日本語交流プログラム「Nともの会」

自主

通年 月2回程度。 年度末時点で約20組が活動中

全体交流会：12/17、2/25 田無公民館 参加者：2日間合計23名

外国人と日本人がペアになり二人で相談して活動内容・活動日を決めて交流します。場所は、公民館・ファミレスなど。話題は、日本での生活で困っていること・お互いの国の季節の行事・日本語の学習方法・好きな映画の話など、ペアの数だけあります。

【外国人Nともの出身地】カナダ、フィリピン、ガーナ、中国、台湾、オーストラリア、ミャンマー、ネパール、ロシア等。

【活動回数（年間）】 のべ296回

全体交流会：12月はグループごとのテーマトークやグループ対抗ゲーム、2月は大根餅作り。皆さん日本語で談笑して楽しい時を過ごしました。



■ 江戸東京たてもの園見学とお花見交流会

自主

2023. 4/1 江戸東京たてもの園・小金井公園 参加者：8名

コロナ対応が緩和され久しぶりに江戸東京たてもの園を見て回った後、満開の桜の元でお花見交流会を開きました。車座になり自己紹介ゲームなどで打ち解けた後、スタッフ11名も参戦したジャンケンポン大会は大盛り上がり。最後まで勝ち残り 全員のあめ玉を総取りしたのは新加入のスタッフでした。



■ 留学生ホームビジット

共催

2023. 6/25 田無庁舎内会議室（対面式）⇒各家庭 留学生：19名、受入れ家庭：17組

留学生は日本の家庭と交流が出来、受入れ家庭は異文化を体験できる貴重な機会です。そこに多文化理解が生まれます。コロナ禍が明け、近隣大学の留学生が4年ぶりに西東京市の家庭を訪問して一緒に料理やゲームをして交流しました。留学生からは「数年間日本に住んでいるが一度も日本人の家庭を訪問したことがなかったので、貴重な経験だった」などの声が、受け入れ家庭からも「たくさん話をし相手の国のことを知り、私達のことでも知ってもらい、刺激をもらいました」という感想が寄せられて、ともに有意義な時間を過ごされていました。



■ 武蔵野大学夏季日本文化体験プログラム

受託

2023. 7/ 6 多摩六都科学館

2023. 7/11 江戸東京たてもの園 参加留学生：両日とも 67名

市内の友好大学である武蔵野大学から夏季短期留学生対象の日本文化体験プログラムの委託を受け、2日間の日本文化体験を実施しました。多摩六都科学館では館内展示やプラネタリウムを見学した後、折り紙と水引きの作成体験を実施、器用に完成させる学生も悪戦苦闘する学生も皆楽しそうに取り組んでいました。2日目は、ゆかたを着付けてもらい江戸東京たてもの園で、古い家並みを散策したり昔の農家や住宅の中を見学したり。皆さん浴衣を着るだけで大興奮、夏の暑さにも負けず園内を興味深く見て回っていました。



■ ゆかたを着て夏まつり2023

自主

2023. 7/29 田無公民館 ⇒ ダイードリンコアイスアリーナ駐車場 参加者：18名

市内の日本語教室やSNSで募集した在住外国人参加者は田無公民館でゆかたを着付けてもらい、東伏見商栄会主催の夏まつりに参加して盆踊りと夜店を楽しみました。主催者は場内アナウンスでこの企画を紹介し、外国人参加者にインタビューするなど迎え入れてくださいました。参加者も初めての盆踊りにもかかわらず、すぐに踊りの輪に溶け込み、櫓の上でも踊るなど大いに楽しんでいました。



■ つながる世界プロジェクト

自主

2023. 9/29 田無小学校 児童：122名 講師出身国：韓国
 2023. 11/ 6 谷戸第二小学校 77名 ベトナム
 2024. 1/27 中原小学校 120名 中国



市内在住の韓国、ベトナム、中国出身の講師が、自分の育った地域の生活の様子を子どもたちに熱心に伝えました。異なる言語や食文化などを知って、自分の常識との違いに驚いている子ども達の姿が多く見られました。このような取り組みから多文化への関心が芽生え理解につながっていくと思われます。

■ 西東京市日本語スピーチコンテスト2023

共催

2023. 10/1 コール田無 発表者：8名、観覧者：95名

西東京市在住・在勤・在学の外国につながる方が日本語で、日本で生活して感じたこと、考えたこと、母国への思い、西東京市との



つながりなどについてのスピーチをしました。発表者8名には、市長賞・武蔵野大学学長賞・NIMIC賞・敢闘賞が贈られました。観覧者のアンケートには「さまざまな背景を持った方々の経験を聞きとても感動した」などのコメントが多く寄せられました。

■ 「西東京市民まつり」に参加

自主

2023. 11/11-12 西東京いこいの森公園 ブース来場者：682名

広く市民の皆さまにNIMICを知っていただく機会と捉え、毎年ブースを出してみなさまのお越しをお待ちしています。ポスター掲示でNIMICの活動を紹介し、各国の言葉や世界旅行クイズで楽しんでいただいています。当日ボランティアを含め40名が参加し、会員同士の交流の場にもなっていました。



■ 多文化サロン「ジェップさんに学ぶ魅力あふれるベトナム」

自主

2023. 12/19 多文化共生センター 参加者：4名

ベトナムからの留学生ジェップさんから、ベトナム国内で使われている言葉の違いや、結婚式やアオザイについて詳しいお話を聞きました。また世界第2位のコーヒー豆の生産量を誇るベトナムでも大変苦いとされるロブスタ種を使ったベトナムコーヒー（コンデンスミルク入り）とエッグコーヒー（卵黄入り）の飲み比べもしました。



■ 日本のお正月を体験しよう

自主

2024. 1/27 田無公民館 参加者17名



参加してくれた日本語学校学習者や建設会社の技能実習生など皆で、お雑煮とあんこ・きな粉・海苔・大根おろしをつけたお餅を食べました。その後テーブルごとに福笑い・坊主めくり・双六をして、書初めにも挑戦しました。初めてのお餅の美味しさに感激したり、お正月遊びに大笑いしたりドキドキしたり、習字の筆使いに苦戦したりの楽しいイベントでした。



■ 多言語で楽しく！

共催

2024.3/2 きらっと 参加者：こども15名

コロナ禍で4年ぶりの対面での開催。年長から小2までの子どもたちが英語・中国語・韓国語の数字や簡単な動詞を学んだあとに、大きなサイコロを使ったゲームを外国語で楽しみました。同時開催で、保護者の方にはNIMIC子ども日本語教室を紹介し、「やさしい日本語&ベンガル語クイズ」に挑戦していただきました。



■ 多文化サロン「アナスさんが語る マルババ（ようこそ）！モロッコ」

自主

2023.3/19 ゆめこらぼ 参加者：13名

モロッコ出身のアナスさんと奥様が淹れてくれたミントティーやデーツをいただきながら、砂漠や山脈には雪が降る、海沿いの地域では魚市場が賑わっている、街中では大鍋で煮たエスカルゴが売られているなど、モロッコの生活や風土の話をお聞きしました。地理的に遠いモロッコの人々に想いを馳せることが出来、楽しい時間を過ごしました。



【活動の活性化・ネットワーク作り】

■ 日本語ボランティア入門講座

共催

2023.5/24から7/26 田無庁舎会議室ほか（見学は子ども日本語教室） 参加者：48名

4年ぶりの対面開催に受講者が集まり、多くの方が対面での講座を待っていたのだと痛感しました。トランプゲームで異文化を体験する、文章をやさしい日本語にしてみるなど実践的な内容の講義を受け、実際子ども日本語教室を見学して「スタッフも学習者もとても熱心だった」「アットホームな雰囲気を感じられた」などの感想が発表されました。講座終了後、各教室やNIMICは、新たなボランティアを多く迎えました。

■ SDGsと多文化共生講座

「『気づく』から始める、思いやりのある地域社会」

自主

2023.7/22 田無公民館 参加者：7名

昨年に続いて2回目も早稲田大学の近藤先生から、私たちの何気ない表現の裏にある、画一的な考え方や、マイクロアグレッションについて、ワークショップ形式で学びました。参加者からは「自分の中にもステレオタイプが出来上がってしまっていることに気が付いた」「マイノリティの側に立つ人々の思いを感じ取る人でありたい」などの感想がありました。



■ インスタグラム活用術入門講座

自主

2023. 9/2 田無公民館 参加者：7名

NIMICとして、様々なSNSを通じて多様な世代や言語の人たちに情報を届け、地域の人と人の輪をより効果的に広げていこうと、ライター/編集者の廣田亜希子さんを講師に迎えて、インスタグラムの勉強会を開きました。その特徴、投稿のしかた、写真投稿の留意点などを学んで、一層効果的な情報発信を目指します。



■ 日本語ボランティアフォローアップ講座

受託

2023. 9/6、9/27、11/18、12/2 の4回 田無庁舎会議室ほか 参加者：のべ137名

日本語ボランティア教室で活動中のボランティアを対象とした研修講座です。



- 第1回：地域日本語教室での対話型学習活動のコツ①
- 第2回：地域日本語教室での対話型学習活動のコツ②
(成人対象の日本語教室ボランティア向け)
- 第3回：外国につながる子どもと楽しく学習するコツ
- 第4回：外国人住民の在留資格と子どもの進路
(子ども日本語教室ボランティア向け)

教えていただいたノウハウを今後の日本語ボランティア活動に活用したいとの声が多くありました。

■ 医療関係者のための「やさしい日本語研修」

共催

2023. 9/29 コール田無とオンライン (ハイブリッド)

午後7時30分開始の研修には、多忙な医師、看護師、受付業務の方々が多く参加され、熱心に楽しそうにワークショップで模擬患者とやり取りされていました。NIMICは、実施主体の順天堂大学と、西東京市、西東京市医師会をつないで運営をサポートしました。病院でのコミュニケーションに不安を感じている外国人の方々の環境改善の最初の一歩になったかと思えます。医療現場に「やさしい日本語」が広がっていくことを願っています。

外国人の模擬患者とのロールプレイで学ぶ医療関係者のための「やさしい日本語」研修

9/29

研修で役立つ「やさしい日本語」を学んで、ご自身の職場や現場に活かしましょう！この研修では、医師や看護師に準じた、実際の現場を想定したグループワークを行います。研修に役立つ外国人医療従事者や医療関係者とのリアルな声かけを学ぶことができます。この研修を通じて、医療における外国人支援ネットワークづくりを目指します。

研修内容

- 1 「やさしい日本語」についてのレクチャー **知る**
- 2 外国人医療従事者とのグループワーク **実践する**
- 3 フィードバック・感想のシェア **深める**

「やさしい日本語」を用いてみた医療関係者の感想

日本人にとっても、医師の仕事を理解しやすくなり、患者さんとのコミュニケーションがスムーズになりました。

「やさしい日本語」は、医療現場で働く外国人医療従事者さんとのコミュニケーションがスムーズになりました。

9月29日(金) 19:30-21:00 定員60名
コール田無イベントホールA・B (西東京市田無町1-2-2) 対象 および オンライン

参加費無料

主催 医療関係者 (医師、看護師、受付員、医療系学生など)
協賛 高野会、順天堂大学医療系多文化共生センター、順天堂大学、東京府、一般社団法人医療関係者協会、公益社団法人東京府医師会

申込方法 専用申し込み申し込みください <https://forms.gle/36vXW9m39Qv6E7m29>

会場 田無 医療・やさしい日本語、研修施設、特定非営利活動法人国際研修センター
〒201-8502 東京都西東京市田無町1-2-2
Mail: ken@nimmikan.jp TEL: 03-4243-4223 (内線)

※本研修は、医療関係者(医師、看護師、受付員)を対象とした研修です。医療関係者以外の方の参加はできません。



■ 「西東京市総合防災訓練」に参加

自主

2023. 10/29 文理台公園 ブース来訪者：142名

外国人を対象とした防災対策パネルを展示し、やさしい日本語や防災用のピクトグラムを使ったクイズなどで外国人向けの防災情報を発信しました。



■ 日本語適応指導員研修会

協力

2023. 12/18 田無第二庁舎 参加者：14名

適応指導員は、教育委員会から派遣され市内の小中学校で外国につながる子どもたちが日本語で学校生活を送り日本語で学習できるよう、ふだんは個々に指導に当たっています。今年度は、日本語学習と教科学習・学校生活を結びつける工夫について学びました。

※ NPO法人 西東京市多文化共生センター（NIMIC）は、

「ともに住み、ともに生きる」をキャッチフレーズに、異なる文化的背景を持つ人々が、互いの違いを理解し尊重し合って、ともに地域で暮らす「多文化共生」のまちづくりを目指しています。

「外国人にとって住みやすいまち、みんなが住みやすいまち」と考え、外国人支援、交流の場づくり、受け入れる地域社会の啓発活動を行っています。

■ 詳しくは、
ホームページで



NIMIC の会員 になりませんか？

多文化共生活動に興味のある方、ぜひ私たちと共に考え、行動してみませんか。
あなたのご参加をお待ちしています。

○ 会員になると

- ・各種イベントに実行委員として参加できます
- ・興味ある活動、新しい活動を始めることができます（理事会承認が必要）
- ・メールマガジン「NIMIC通信」、年間活動記録誌「多文化のわ」を受け取ることができます

何より 楽しい仲間・友人が増えます！ 文字どおり 世界が広がります！

○ NIMICメンバーとして活動するためには、まず、会員になっていただきます。

「入会申込み」の後「年会費を納入」してください。

「入会申込み」は ホームページから、または西東京市多文化共生センターまで。

「年会費の納入」は 新規入会者宛てに個別にご連絡します。

【年会費】 個人会員 2,000円、学生会員 1,000円、家族会員 3,000円。

（入会金はありません。）

★あくまでもボランティアですので、ご自分の興味と都合の範囲で参加していただきます。

なお、主に土・日・祝日に活動するチーム「土日プロジェクト」や、
学生主体のチーム「NIMIC Youth Club」もあります。

また、イベント開催当日だけの「当日ボランティア」での参加も可能です。

詳しくは、ホームページからお問い合わせください。

● SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

NIMICは、活動理念に基づき、行政や他団体とのパートナーシップを通じて、地域における外国人生活支援など、異なる文化的背景を持つ人々誰もが、共に地域で快適に暮らせる「多文化共生社会」の実現により、持続可能な開発目標(SDGs)3、4、5、10、11、16、17の達成に貢献することを目指します。



年間活動記録誌「多文化のわ」2023年度版
2024（令和6）年 11月 1日発行

編集・発行：NPO法人 西東京市多文化共生センター

E-mail : info@nivic.jp

ホームページ : <https://www.nivic.jp/>

Facebook : www.facebook.com/nivic.nishitokyo

X : <https://twitter.com/NIMICNishitokyo>

Instagram : https://www.instagram.com/nivic_1129/



※ NIMICの会員ではない方も、メルマガ「NIMIC通信」の配信を受け、タイムリーなイベント情報等を得ることができます。右のQRコードから申し込んでください。

